

～ 収穫時期の農作業事故にご注意を ～

幕別町における農作業中の負傷事故は、年間40件前後発生しており、令和5年度において37件発生しています。

発生原因は、家畜による事故が21件（56.8%）で最も多く、次いで農業機械による事故が9件（24.3%）、小農具が4件（10.8%）となっています。

◆直近5年間の原因別農作業事故発生状況の推移（負傷事故）

年度	家畜 関連	農業 機械	高所 転落	人の 転倒	蜂	農薬	鎌・鋏	小農具	その他	不明	計
R元年度	22	11	4	6	1	0	2	0	9	2	57
R2年度	16	8	2	6	2	0	1	1	2	0	38
R3年度	13	6	2	5	0	0	0	3	3	0	32
R4年度	24	3	2	0	0	2	1	3	1	0	36
R5年度	21	9	1	0	0	1	0	4	1	0	37
計	96	37	11	17	3	3	4	11	16	2	200

これらの農作業事故は、作業の遅れに伴う疲れや焦り、作業の慣れや気持ちの緩みなど、ちょっとした油断や不注意が原因と考えられます。

余裕を持ち、積極的に休憩をとり、家族で声を掛け合いながら農作業を進めましょう。

☆注意すべきポイント

- ・点検等は、まず「エンジンを停止」させてから
- ・運転・始動は、周辺の「安全確認」を徹底して
- ・停車時は、「ブレーキの確認」を
- ・作業は、「無理せず」安全に
- ・疲れたら、なるべく「休憩」を



農地所有者へお願い
 農地は、数年耕作をやめてしまうと、原形がわからないほど荒れてしまいます。
 遊休農地（耕作放棄地）は、農地集積に支障をきたすだけでなく、周辺の病害虫発生の原因や有害鳥獣の隠れ場所になり、農業振興に悪影響を及ぼします。
 また、ごみの不法投棄や火災発生など生活環境に悪影響を及ぼしかねないので、適正な管理をお願いします。

農地パトロール
 農業委員会では、平成22年度に「農地パトロール実施要領」を制定し、毎年1回、町内の農地の利用状況調査を実施しています。
 本年度は、表紙に記載のとおり、8月に農地パトロールを実施しました。